

会議録

会議名	日時	場所	記録者名
じょうほうネット（第4回）	令和5年2月27日	公民館 研修室1	*****

出席者 12名

1. 参加者から近況紹介（自己紹介を兼ねて）

※早稲田学区で気になったこと、嬉しかったこと、ちょっと困ってしまったことなど

- ・早 2 丁 目：ちびっこ広場が綺麗になり良かった。
- ・早 3 丁 目：トータテ住宅の入居者は増えているが、町内会の加入が難しい状況にある。公園ネットの設置、防犯灯の追加などの課題を解決しながら、町内会の存在を示す必要がある。
- ・早 4 丁 目：コロナになって以来、会場の収容人員の都合で集会はなく、資料配布のみになっている。コロナが落ち着いてきている中、今後どうするか考えていけない。
- ・体 協：来年度は5月28日に東区民スポーツ大会が予定されている。
- ・青 少 協：青少協指導員のメンバーに常日頃から公園などパトロールしてくださいとお話している中で、中学生が道路で談笑していたという報告が上がっている。
- ・防 犯 組 合：早稲田二丁目集会所近くの細道に立ち、自転車のスピードを落としてもらうようになった。来年度小学校へ新入生2名が通学する予定なので充分気を付けていきたい。
- ・自 主 防：第三公園を防災公園にする予定があり、土砂撤去工事も2月に終わった。来年度はかまどベンチ・掲示板・災害用自動販売機を設置する予算を立てて行う予定。
- ・中学校 PTA：今後の予定として、3月8日卒業式、4月8日入学式と続く予定。卒業式の練習の際、マスクをつけたり外したりしながらされている。来賓の方にも来て頂く予定。
- ・小学校 PTA：5年生が総合授業でネットの事を勉強していて、地域の7つのネットの事をグループに分かれて調べており、子供たちも地域の事を知って良いことだと思った。
- ・公 民 館：前回の会議から今日まで事業も中止することなく行われている。防災教室や遊楽タイムでは雪遊びをされた。マスク緩和に関して県や市に従って滞りなく移行したい。

2. 早稲田学区のこれからのまちづくりについて（情報提供）

- ・広島市地域活性化ビジョンに基づき、社協を中心とした新たなまちづくりが進んでいる。
- ・活性化ビジョンは、社協を主な活動団体となって地域の各団体を束ねることでコミュニティの強化を図るとともに、行政側も情報の受け手を一元化することで、円滑なまちづくりが進められるようになる。
- ・先進モデルとなっている早稲田学区はトップランナーとして新たな体制づくりを準備している。
- ・早稲田学区としてはこれまで通り社協が中心となることは変わらないが、活動の予算の多くは新たな体制に納入され、新たな体制から各構成団体へ配分するような仕組みになる予定。
- ・令和4年度は規約等の改定、5年度は新たな体制の仕組みづくり、6年度から本格的に始動する予定で新たな体制でのまちづくりが進められる。
- ・各ネットで議論して提案された意見が、自分たちの住むまちづくりに活かされる仕組みは、他の地域ではほとんどみられないもの。今後、より良い町にするためネットにかかる期待は大きい。

(→以下、次ページに続く)

3. 早稲田公民館 掲示板設置に関する意見交換

(掲示板に期待されるもの)

- ・ 温かみを感じる交流なので意欲的であるが、負荷が大きいのではないか。
- ・ デジタルに弱い世代も強い世代もまた違った交流になるきっかけになるのではないか。

(掲示方法について)

- ・ 設置場所は、どこか1か所となると公民館が良いのではないか。
- ・ 情報を伝えていく方法も考えないといけないのではないか。
- ・ 基本は公民館に掲示し、集会所や各町内のサロン会場へ巡回する方法でもよいのではないか。

(管理方法について)

- ・ 高齢者に向けてならば100歳体操に掲示板を持っていき管理もして頂くのはどうか。
- ・ 情報の管理と掲示板自体の管理の負担が大変なのではないか。
- ・ 社協の取組となると社協の中の情報管理は広報部がするようになるのでは。
- ・ 頻度は1週間に1度となった時に、誹謗中傷がそのまま1週間となると問題があるのではないか。

(掲示板の設置規則について)

- ・ 公民館の現時点での規則に従えば、地域で管理する掲示板の設置は難しい。社協が進める新しいまちづくりによって規則が変更になれば、掲示板の設置が可能になる。

以 上